元気ムラ通信34号

発行:2024年１月

詳細は「あきた元気ムラ応援サイト」からご覧ください。

●2023年を振り返って

コロナの行動制限が緩和された去年、こんなことあんなことありました!

かもあおさ笑楽校
●男鹿市・加茂青砂地域（61世帯・93人）

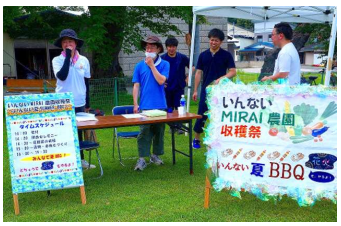
コロナ禍前は、高齢化してきた地域を元気にしようと、住民交流を頻繁に行っていた加茂青砂地域。交流が制限されていた約3年間を吹き飛ばす勢いで“何か楽しくなるようなことをしていこう”と、一昨年からあたためてきた集落応援ソング「加茂の青砂でダダダコわっしょい」をお披露目。住民有志で合唱団を結成し、夏には旧小学校でイベントを開催! さらには、地域内外から人が集まり「境界なき土起こし団」を結成し、耕作放棄地の開墾を始めました。来春にはいよいよ作付けが始まります。人口減少にも負けない“楽しみづくり”の輪がどんどん広がっています。

つながっていく郷土芸能
●横手市・戸波地域（77世帯・222人）

戸波地域の郷土芸能「ぎおんばやし」は、毎年5月の戸波神社祭典で奉納されてきました。コロナ禍において、神社祭典は神事のみとなり、踊りの奉納も中断。人口減少も相まって、踊り手の確保まで難しくなっていましたが、戸波芸能保存会では日々、人材確保と踊りの練習に励んできました。その甲斐あって、昨年の祭典では4年ぶりに踊りを奉納。地域内外の方々が久しぶりに優雅な力強い舞を堪能しました。
地域の伝統行事を絶やすまいと、戸波地域の方々は日々、奔走しています。

●活動を次の世代へつなぐ

地域の魅力や文化を次の世代へつなぐ取組が、様々な形で行われています。

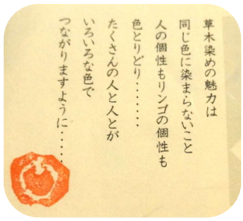


若者グループの活躍～いんない未来塾～
●湯沢市・院内地域（576世帯・1,274人）

まちづくりシンポジウム（院内地域づくり協議会主催）の実行委員を経験した若い世代が中心となり、令和元(2019)年に「いんない未来塾」を立ち上げました。「人と人がつながって住民が幸福を感じられる地域」を目指す活動は、賛同する若者が地域内外から集まってにぎやかに進行中です。他団体と連携して、お互いの強みを生かして助け合いながら、「院内がワクワクドキドキする」取組を展開し、地域の魅力を次の世代へつないでいます。

子どもたちとの取組～リンゴ染め体験～
●横手市・亀田地域（310世帯・910人）

亀田地区の女性グループ「プリティアップル」の皆さんが、増田小の児童とリンゴ染めの授業を行いました。地域の特産品であるリンゴの魅力を探求する授業をしている中、担任の先生が元気ムラサイトでリンゴ染めの記事を見つけたことがきっかけになったそうです。学習を通して、地域で頑張っている人たちを知った子どもたち。地元への愛着も育まれたのではないでしょうか。
元気ムラが結んだ縁が輪になって地域に広がっています。



●イベントや地域活動で人手が必要な時は、専用サイト「あきコネ」で関係人口を募集しませんか？

地域活動や農業体験などを通して、地域の方と「関係人口」が関わることができるコンテンツを「**あきたの物語**」と名付け、専用サイトで参加者を募集しています。イベントや地域活動のスタッフを確保したい!地域外の方との交流に興味がある!という場合は下記までご相談ください。

由利本荘市笹子地域の「秋の恵み収穫祭」で青森の女性がキャベツ販売をお手伝い♪

秋田に興味を持っていたので参加できて良かった♪ 地域の方からも大歓迎されて嬉しい限りです。^^

あきコネサイト QRコード

あきた関係人口会議webサイト「あきコネ」で「**あきたの物語**」を紹介しています。
ぜひご覧ください(^^)
https://kankei.a-iju.jp/

「関係人口」とは？
関係人口とは、移住した“定住人口”でもなく、観光に来た“交流人口”でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。「あきたの物語」には、地域の方と深くふれあう交流を通して継続的に関わっていきたいという思いを持った方が参加しています。

●「あきた県庁出前講座」、ご利用ください。

出前講座、ご存じでしょうか？　県民の皆様の依頼で県職員が講師となって県事業などをご紹介する講座です。昨年11月、秋田市河辺の岩見三内中学校の「総合的な学習の時間」の一環で、元気ムラ支援チームが「ふるさとの地域活動を知る」「地域のためにできることを考える」をテーマに出前講座を行いました。真っ白だった模造紙が、生徒さんたちのアイデア付箋でいっぱいになりました。元気ムラ関連で出前講座をご希望の場合は、下記までご相談ください(^o^)

「地域のためにできることは何か？」を考える生徒の皆さん。

●こんなこと、がんばっています♪

コミュニティ食堂にチャレンジ！
●小坂町・川上地域（179世帯・405人）

川上地域では、昨年度まで、地域の将来を考えるワークショップを重ねてきました。その中で「世代間交流ができる機会がほしい」との意見が挙がったことをきっかけに、初の取組として、コミュニティ食堂を開店しました。地域の伝統料理である「しょうゆご飯」をメインに、地域のお母さんたちが作ってくれた料理を食べながら、食を通じた交流の機会となりました♪

「厄介者」で桜えんぴつ作り！
●湯沢市・横堀地域（520世帯・1,228人）

桜の名所で知られる横堀地域では、毎年の豪雪で大量に折れてしまう桜の枝が「厄介者」になっていました。この厄介者を資源にしようと、横堀地域づくり協議会では桜の枝をチップにして肥料にしたり、枝を使ったえんぴつ作りを行ったりしています。この活動が評価され、2023年度、他の模範となるような個人や団体に県が贈る「環境大賞」に選ばれました!

編集後記

【わら編み機】湯沢市岩崎地域の初丑まつりで使う「恵比寿俵」を作るのに必要なのが、「わら編み機」。昔は当たり前にあったこの機械が不足していて、伝統行事の準備も大変だそうです。思い当たるところがある方がいらしたら、湯沢市ふれあいセンターかしま館（電話：0183-73-2904）にご連絡ください!

【発行】秋田県 あきた未来創造部　地域づくり推進課（元気ムラ支援チーム）
●所在地／〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1　●電話／ 018-860-1215
●FAX ／ 018-860-3875　●E-mail chiiki@pref.akita.lg.jp